

電車の役割 車内で意見交換

福井鉄道福武線を往復 各地から70人乗車



電車の中での講義を聴く参加者＝武生市の武生新駅で

全国的に地方の電車の利用者が減り続ける中、地域づくりにおける電車の役割を考えるのが狙い。将来を担う子どもたちが参加しやすい、市民に自由な雰囲気話合ってもらいたいと電車を会場にした。県内各地から約七十人が参加。武生市の武生新駅で電車についての講義を聴いた後、福井市の田原町駅まで片道約四十分間の電車内でグループに分かれて地域における電車の役割などについて話し合った。

参加者からは「金曜日の終電を遅くして」「駅

参加者ら

金曜日の終電遅くして 駅前に一日駐車場を

地域問題などに取り組む丹南市民自治研究センターと中部地区労働福祉平和センターは二十七日、福井鉄道福武線を往復する電車の中で、公共交通機関の電車について考えるユニークなイベントを開いた。（吉光 慶太）

前に一日駐車場を造って」などの意見が出た。帰りの電車の中ではビールやお茶を片手に交流会もあり、車内はにぎやかだった。

子どもと一緒に参加した武生市柳町の笹田和子さんは「電車での開催なので子どもも喜んで。電車がもっと便利になって、福井市に通勤する夫が電車で通えるようになれば」と期待していた。